

Dramatic & Drastic 芦高

第25代校長 八木基雄

「自治・自由・創造」の学舎“芦高”の創立80周年の節目を心よりお慶び申し上げます。ひとえに、創立以来、芦高生の教育に献身され、溢れんばかりの情熱を注がれた諸先輩のご尽力の賜物です。そして、いつも物心両面から惜しみないご支援をいただいている同窓会「あしかび会」の皆様のおかげです。

県下の単位制高校の先導的な役割を果たし、順調に堅実な歩みを進めている芦高で、私は平成24年からの3年間、めざす「芦高像」と「芦高生像」を示し、“Dramatic & Drastic 芦高”を学校経営のテーマに掲げました。加えて、先生方には、芦高生一人一人が主役で光り輝ける舞台を整えていただくようお願いしました。

在職中には、芦高生の論理的思考力を育成するために「論理エンジン」や「芦高手帳」を導入し、グローバル人材の育成を視野に、修学旅行先を台湾へと変え、新北市立三重高級中学と相互交流を始めました。また、芦屋市との共催で「芦屋オープンカレッジ」を開講し、芦高の教育財産を地域住民に発信するとともに、芦高や芦高生の魅力をホームページのブログで発信するなど、開かれた学校づくりを推進しました。これらの取り組みが結実し、朝日新聞の「まなびバ！」が、「自治会が学校運営！」という見出しで大きく取り上げてくれました。(平成25年4月15日付け朝刊)

個人的には、毎年、あしかび会総会や関東支部総会にお招きいただき、数多の人生経験豊かな諸先輩と芦高への熱い想いを共有させていただいたり、春夏12回の甲子園出場を誇り、昭和27年夏には全国優勝の快挙を遂げた野球部のご縁で、兵庫県高等学校野球連盟とつながり、会長に就任させていただいたりしたことなど、枚挙にいとまがありません。

このようにたくさんの宝物をいただいた芦高に感謝するとともに、今後ますますの充実と発展を心より祈念しています。